

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	家族援助論 (Family Support)		
ナンバリングコード	E20934	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	コース必修:こども・福祉コース 選択:地域マネジメントコース、Bソリューションコース、会計ファイナンスコース、スポーツビジネスコース コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E045501	クラス名	-
担当教員名	坂口 昌宏		
履修上の注意、履修条件	こども・福祉マネジメントコースのコース必修科目です。必ず履修してください。 ※原則として、コミュニティワーク演習との合同演習のため、該当年次のみ受講可能となります。 ・PBLを行いますので、作業等は積極的に取り組むことを心がけてください。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	授業中に指定します。		
関連科目	地域福祉論・児童福祉論・高齢者福祉論・相談援助の基盤と専門職A・社会調査法・社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱなど。		

○基本情報		
授業の目的	こども・福祉マネジメントコースでは、経済や経営の知識をベースに、「子ども」「高齢者」「障がい者」など福祉に関する幅広い視点から専門知識やスキルを習得するためには、地域社会が抱える多種多様な課題を知り、体験交流活動で実感し、その課題解決に向けた必要な知識の修得、そして実際にステークホルダーとの協働による課題解決型学修を実施しています。そこで、本科目は、地域課題を中心に、様々な福祉分野やビジネスの問題点を知り、その解決に向けての取組みの方法を学ぶとともに基礎的な知識・技術を身につけます。	
授業の概要	この演習では、まず地域の抱えている問題点やビジネス上の問題点、対象者の抱えている課題などを学びます。それから、PBLを通して、地域実情に応じて異なる課題を把握・整理し、その解決方法(必要なもの)を検討していきます。必要に応じて、ステークホルダーとの協働活動を体験し、実践方法などについても学びます。※外部講師による講演に変更になる場合があります。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリーⅠ:ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	PBLに積極的に取り組むことができる。PBLを通して、自分の気づきや内容を文章化することができる。		10点	30点
【知識・理解】	地域における様々な福祉分野(ビジネス)の問題点を知り、その解決に向けての基礎知識を身に着けることができる。		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	地域やビジネス上の課題を理解し、企画内容を適切にプレゼンテーションすることができる(実行力)。			10点
【思考・判断・創造】	インターネット等を活用し、正確な情報を抽出し、その内容を文章化することができる。PBLを通して、当事者等の立場を踏まえつつ、自分なりの意見を発現することができる(主体性)。		10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

リアクションペーパー、課題レポート、報告レジュメ、PPデータ等の提出物とともに、講義・グループ活動・報告会等も成績評価に加え、総合的に判断します。

[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

課題のフィードバックについては、次回以降の講義で、返却する。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	家族援助論（Family Support） 坂口 昌宏	授業コード	E045501
学修内容					
1. オリエンテーション 本授業の意義、目的の説明・社会人基礎力について 子ども・福祉マネジメントコースの目指す人材像について ※社会人基礎力の調査					
予習		シラバスで授業計画等の確認をする。			約1時間
復習		本授業の意義、目的等内容整理			約1時間
2. 地域社会をフィールドとして学ぶ意義 子ども・福祉マネジメントコースで取組むCOC事業の意味 地域の実情を踏まえて活動を実施する意義など					
予習		COC事業の目的等について（調べ学習）			約1時間
復習		地域の実情に合わせた取組みについて内容整理			約1時間
3. 多学年合同で学ぶ意義・PBL学修に向けての取組み① 他者との意見交換等を通して、他学年の専門的知識や社会人基礎力等について学ぶ。 地域診断に向けての基礎知識「地域共生社会とは何か」					
予習		地域共生社会について（調べ学習）			約1時間
復習		地域共生社会の内容等の整理			約1時間
4. PBL学修に向けての取組み② 地域診断に向けての基礎知識「地域共生社会に向けての取り組み」					
予習		地域共生社会に向けた先進的な事例について（調べ学習）			約1時間
復習		地域共生社会に向けた取り組みについての内容整理			約1時間
5. PBL学修に向けての取組み③ 地域診断に向けての基礎知識「地域生活課題とは何か」					
予習		地域生活課題について（調べ学習）			約1時間
復習		地域生活課題の内容等の整理			約1時間
6. PBL学修に向けての取組み④ 地域診断に向けての基礎知識「地域生活課題の解決に向けた取り組み」					
予習		地域生活課題の解決に向けた先進的な事例について（調べ学習）			約1時間
復習		地域生活課題の解決に向けた取り組みについての内容整理			約1時間
7. PBL学修に向けての取組み⑤ 地域診断の実践①（地域の現状分析）					
予習		実践地域の情報収集			約1時間
復習		地域診断の内容等の整理			約1時間
8. PBL学修に向けての取組み⑥ 地域診断の実践②（地域生活課題の抽出）					
予習		実践地域の情報収集			約1時間
復習		地域診断の内容等の整理			約1時間

○授業計画		科 目 名	家族援助論（Family Support）	授業コード	E045501
		担当教員	坂口 昌宏		
学修内容					
9. PBL学修に向けての取組み⑦					
地域診断の実践③（地域課題に対する支援（機関・施設・制度など））					
予習		実践地域の支援機関等の情報収集			約1時間
復習		支援機関等の内容の整理			約1時間
10. PBL学修に向けての取組み⑧					
地域診断の実践④（地域診断の整理（PP作成等））					
予習		報告に向けての内容等整理			約1時間
復習		報告に向けての原稿等の作成			約1時間
11. PBL学修に向けての取組み⑨					
地域診断の実践⑤（地域診断の整理（PP作成等））					
予習		報告に向けての原稿等の作成			約1時間
復習		報告に向けて原稿読み等			約1時間
12. PBL学修に向けての取組み⑩					
地域診断の実践⑥（報告会（地域診断の結果の共有））					
予習		報告に向けて原稿等の修正			約1時間
復習		他者の報告内容等のまとめ			約1時間
13. PBL1－①					
報告会振り返り・地域課題の再整理・地域課題解決に向けた施設・機関（事前学習）					
※遠隔授業の場合は変更することがある。					
予習		地域を拠点とする施設・機関の情報収集			約1時間
復習		施設・機関についての内容整理			約1時間
14. PBL1－②					
地域課題解決に向けた施設・機関（体験交流活動に向けた事前指導及びインタビュー内容等の作成）					
※遠隔授業の場合は変更することがある。					
予習		インタビュー等の内容の検討			約1時間
復習		施設・機関の役割確認等			約1時間
15. PBL1－③					
地域課題解決に向けた施設・機関（体験交流活動）※夏季休業中に実施する場合もある。					
※遠隔授業の場合は変更することがある。					
予習		前期の活動の振り返り			約1時間
復習		施設・機関のインタビュー等のまとめ			約1時間
16. PBL1－④					
体験交流活動の振り返り・インタビュー内容等の整理					
※遠隔授業の場合は変更することがある。					
予習		施設・機関のインタビュー等のまとめ			約1時間
復習		施設・機関の課題整理			約1時間

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	家族援助論（Family Support）	授業コード	E045501
		担当教員	坂口 昌宏		
学修内容					
17. PBL1－⑤					
地域課題に対する施設・機関の役割・課題整理					
予習	施設・機関の課題整理				約1時間
復習	施設・機関に関する内容整理				約1時間
18. PBL1－⑥					
地域課題に対する施設・機関に関する内容整理（PP作成等）					
予習	施設・機関に関する内容整理				約1時間
復習	報告会に向けての原稿等作成				約1時間
19. PBL1－⑦					
地域課題に対する施設・機関に関する内容整理（PP作成等）					
予習	報告会に向けての原稿等作成				約1時間
復習	報告会に向けての原稿等の修正				約1時間
20. PBL1－⑧					
地域課題に対する施設・機関に関する報告会（情報の共有）					
予習	報告会に向けての原稿等の修正				約1時間
復習	他者の報告の内容整理				約1時間
21. PBL1－⑨					
報告会（振り返り）・施設・機関の情報の再整理					
予習	他のグループの報告の内容整理				約1時間
復習	報告会の内容等まとめ				約1時間
22. PBL1－⑩					
地域の実情に合わせた地域課題解決に向けた施設・機関の役割とは何か。					
予習	施設・機関の役割の検討				約1時間
復習	他者との意見交換等をまとめる				約1時間
23. PBL2－①					
地域を拠点とする施設・機関の専門職の役割とは何か。					
予習	専門職の役割の検討				約1時間
復習	他者との意見交換等をまとめる				約1時間
24. PBL2－②					
地域を拠点とする施設・機関の専門職に求められるものとは何か。					
予習	これからの課題の整理				約1時間
復習	他者との意見交換等をまとめる				約1時間

○授業計画		科 目 名	家族援助論（Family Support）	授業コード	E045501
		担当教員	坂口 昌宏		
学修内容					
25. PBL2－③					
地域を拠点とする施設・機関の専門職に求められるもの（インタビュー調査）					
※遠隔授業の場合は変更することがある。					
予習		インタビュー調査の内容等を検討			約1時間
復習		インタビューでの回答等の整理			約1時間
26. PBL2－④					
地域を拠点とする施設・機関の専門職に求められるもの（調査データ整理）					
※遠隔授業の場合は変更することがある。					
予習		インタビューでの回答等の整理			約1時間
復習		調査データ等の整理			約1時間
27. PBL2－⑤					
地域を拠点とする専門職について（PP作成等）					
予習		これまでのPBLの内容整理			約1時間
復習		報告会に向けての原稿等作成			約1時間
28. PBL2－⑥					
地域を拠点とする専門職について（PP作成等）					
予習		報告会に向けての原稿等作成			約1時間
復習		報告会に向けての原稿等の修正			約1時間
29. PBL2－⑦					
最終報告会					
予習		報告会に向けての原稿等の修正			約1時間
復習		他者の報告内容等の整理			約1時間
30. PBL（振り返り）					
PBL・協働活動の企画立案・運営実施・役割分担等での問題点・改善点等を振り返る。					
※社会人基礎力の調査					
予習		他者の報告内容等の整理			約1時間
復習		講義の振り返り			約1時間
31.					
予習					約2時間
復習					約2時間
32.					
予習					
復習					